

# 活動名:ふるさと学校給食～有機米給食による食育推進～

実績:0千円

## 【活動目的・背景】

市内の有機農業の推進と多様な農業と食について学ぶ機会を創出することを目的に、生産者および農林部、教育委員会、保育園担当が連携して学校給食、保育園給食の一部を有機農産物等に置き換えた給食を提供しています。環境に配慮した栽培方法で生産された有機農産物や特別栽培農産物を給食に導入することで、子どもたちや保護者の「食育」や「有機農業」への意識を高め、持続可能な農業への理解を深めます。



有機トマトを使った給食



農薬化学肥料不使用米の給食

## 【活動内容】

令和6年度は「有機トマト」や「化学肥料や農薬不使用米」の給食を提供しました。市内の生産者が有機農産物等を納品し、給食献立については施設や給食センターがそれぞれ立案・調理し提供しました。(食材の賄い材料費はふるさと納税寄付金を活用しています。)

### ①有機トマト

- ・実施日 令和6年8月27日(火)
- ・対象 市内一部小中学校、市内一部保育園 8施設
- ・提供農家 長九郎農園、長尾農園  
株ありがとうファーム、石橋自然農園

### ②農薬化学肥料不使用米

- ・実施日 令和6年11月25日(月)～11月29日(金)のうち各1回  
令和6年12月2日(月)～12月6日(金)のうち各1回
- ・対象 市内全小中学校、市内全保育園15施設
- ・提供農家 サノライス、福永農園

\*給食提供日に、生産者や「有機農業の日」の紹介チラシを配布。

## 【成果】

「ごはんおいしい!」と保育園児の反応も良く、みんな完食していました。有機トマト給食の際は、「いつもは苦手な食べられない子も、この給食だけは食べることができた」との声もいただきました。この給食は、保育園児から中学生までの子どもたちに提供することで、環境に配慮した農業に取り組む生産者や有機農業を知ることができ、保護者の方にもその情報が伝わることで、食育にもなりました。課題としては、受入側と農家側の調整や価格などいくつかありますが、今後も調整を続け進めていく予定です。